

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 57080025

PUBLICATION DATE : 19-05-82

APPLICATION DATE : 05-11-80

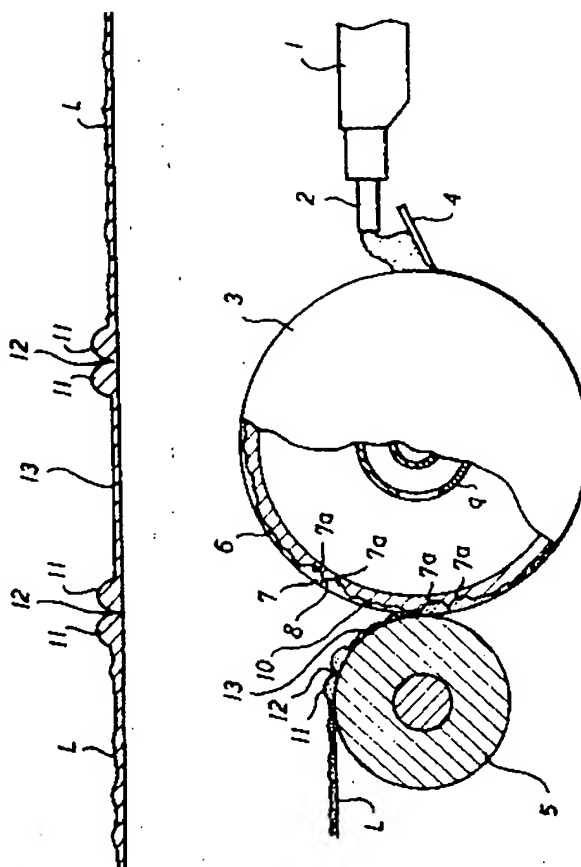
APPLICATION NUMBER : 55156298

APPLICANT : TOOWA:KK;

INVENTOR : NAKADA AKIRA;

INT.CL. : B29D 7/02

TITLE : CONTINUOUS MANUFACTURE OF
SYNTHETIC RESIN LACE PATTERNED
MATERIAL



ABSTRACT : PURPOSE: To obtain a single lace pattern material having beautiful profile, by shaping the wedge like concave streak along the profile line of the lace pattern by using the forming roll having the convex streak of sharp ridgeline and separating the pattern perfectly.

CONSTITUTION: The concavity mold 6 of the desired lace pattern is engraved on the peripheral face of the forming roll 3, and in the concave groove 7 located along the profile line, the convex streak 8 of sharp ridgeline is protruded so as the slight clearance is maintained to the standard surface level of the forming roll 3. The forming roll 3 is heated at the predetermined temperature from the inside by circulating heating oil through the double hollow shaft 9, and the resin melt extruded from the extruder 1 is filled into the concavity mold 6. The concave streak is shaped in the profile line 11 by the convex streak, and the lace pattern material L torn and separated readily by the concave streak 12 is obtained continuously.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-80025

⑬ Int. Cl.³
B 29 D 7/02

識別記号

庁内整理番号
7215-4F

⑭ 公開 昭和57年(1982)5月19日

発明の数 1
審査請求 有

(全 4 頁)

⑮ 合成樹脂レース模様地の連続製造方法

名古屋市北区六が池町514番地
有限会社トーワ内

⑯ 特 願 昭55-156298

⑰ 出 願 人 有限会社トーワ

⑱ 出 願 昭55(1980)11月5日

名古屋市北区六が池町514番地

⑲ 発 明 者 仲田晃

⑳ 代 理 人 弁理士 伊藤毅

明 細 書

1. 発明の名称

合成樹脂レース模様地の連続製造方法

2. 特許請求の範囲

成形ロールに刻設された凹型型のレース模様の互に隣接する輪郭線部に位置した凹溝を巾広とし、その巾広となした凹溝の中心線に沿って上端縁線を尖鋭とする凸条を該成形ロールの基準表面との間に間隙が形成されるように隆起突出せしめ、さらに互に隣接する輪郭線部を連結模様部で連結されるように形成して、この成形ロールに樹脂溶融物を溶融流動状態で連続的に押出して前記凹型型に充填せしめてレース模様の隣接する輪郭線部に沿って模形の凹条を肉薄に形成しながら連続的に成形する方法により構成した合成樹脂レース模様地の連続製造方法。

3. 発明の詳細な説明

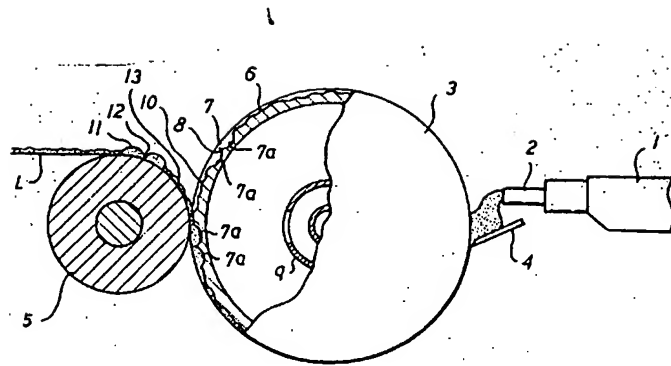
本発明は合成樹脂レース模様地の製造方法に關し、特に、輪郭を設けてエンドレス状に製造されるレース模様地の互いに隣接し合う輪郭線

部を夫々の輪郭に沿って極めて容易にかつ完全に分離できて、美麗な輪郭を持ったテーブル掛け或は敷物等に使用できるレース模様地を連続的に得るためのものである。

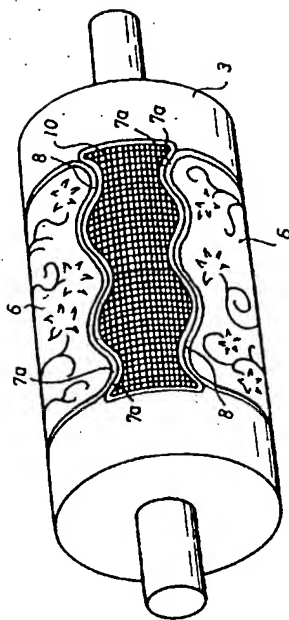
従来、所定の輪郭を有したレース模様を連続的に得ようとする場合は、そのレース模様においてこの輪郭の模様部と、小間隙を置いて輪郭の外側に設けた切断補助線とを形成し、小間隙の部分で引裂く如くした方法を探っていた。しかしながらこの方法の場合は引裂かれる小間隙の部分に加えられる力が輪郭側のみ加わらず、引裂力が輪郭側或いは切断補助線側の如く小間隙間において蛇行状を呈することがあり、従って引裂力が切断補助線側に加わったときは輪郭側に小間隙部分が付着したまま残ることとなり、美麗な輪郭を得ることが不可能であった。

本発明は、成形ロールに刻設されたレース模様の凹型型が所要の間隔を隔てて隣接した輪郭線部に位置する凹溝全体にその中心線に沿って

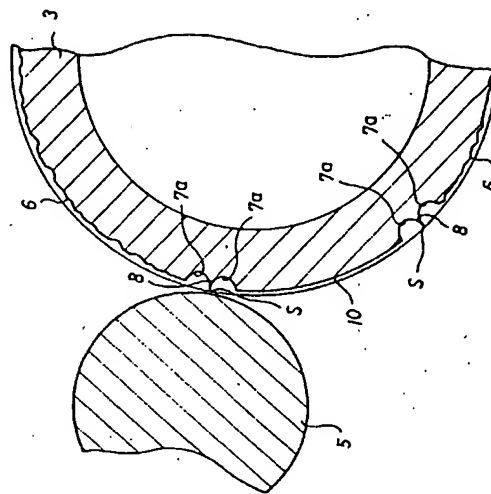
第 1 図



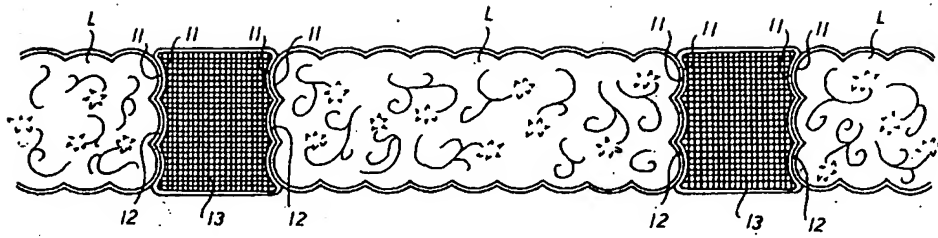
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

